

【小学校 国語】

全国学力・学習状況調査 今治市の各教科調査結果の特徴

1 平均正答率等について

本市の小学校国語の正答率は 60%で、全国の平均正答率と比べ▼0.9%下回りましたが、県の平均正答率と同じでした。「知識及び技能」における「(1) 言語の特徴や使い方に関する事項」表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる問題の平均正答率は、69.0%で、全国の平均正答率と比べ△3.8%、県の平均正答率と比べ△1.6%上回りました。また、「知識及び技能」における「(2) 情報の扱い方に関する事項」の領域で、平均正答率が 50.0% (全国 52.3%、県 50.4%)、「思考力・判断力・表現力等」における「書くこと」の平均正答率が 43.3% (全国 45.7%、県 43.8%) と低くなっています。

2 特徴が見られた問題

2三イ (漢字を文中の中で正しく使うことができるかをみる問題)

問題：次の _____ 部ア、イを漢字でていねいに書きましょう。

暑い時は、そでがアみじかい方がすずしいのでないか。

なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、・・・。

正答：ア 短い イ 不思議

本市の平均正答率は、アの問題が 81.0% (全国正答率：80.0%、県正答率：81.2%)、イの問題が 41.6% (全国正答率：45.2%、県正答率：48.3%) であった。この結果から、比較的正しく書ける漢字がある一方で、学年別漢字配当表に示された漢字を文中の中で正しく使うことには課題があると考えられます。

2四 (引用して、書き表し方を工夫できるかどうかをみる問題)

問題：花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書くこと。
- ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ (「 」) でくくること。
- ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服について考えたことを書くこと。
- 140 字以内にまとめて書くこと。

正答：(例)「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反しやすくなる色のため、熱くなりやすい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。」と書かれている。特に強い日差しが照りつけるえん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。(123 字)

本市の平均正答率は 30.5%で、全国の平均正答率 (33.5%) や県の平均正答率 (31.5%) を下回る結果となりました。この結果から、引用をしながら文章を書くことに課題があると考えられます。

3 これからの学習に当たって

漢字を「読む・書く」だけでなく、同音異義語の使い方や熟語の意味を文脈で考えさせるなど、漢字を指導する際に「使う、選ぶ、比べる」活動を取り入れることが考えられます。

どこまでが他人の意見で、どこからが自分の主張かが分かるよう「引用や出典の示し方」を明確に区別させる学習活動が必要であると考えています。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそう。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

(参考文けん)

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやすくなる色のため、熱くなりやすい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。